

「赤旗」が おもしろい

日刊 月3497円(本体価格3238円)
日曜版 月 930円(本体価格 861円)



元財務相、元民主党顧問 藤井 裕久さん

「アベノミクスは成功した」と言っている人がいます。しかし、日本の円の通貨価値を弱くして、「成功した」とは言えませんが、働く人も若者や女性で

「桜を見る会」疑惑は、まさに「政治の私物化」です。安倍さんの妻は森友学園の小学校の名誉校長をやっていたのでしょ。私や妻が関係していたら

は非正規が多数になってしまった。いま一番対応が求められるコロナ対策はどうか。休業補償や医療支援は十分されず「アベノマスク」や「G O T O キャンペーン」…遅いうえに的外れです。何よりも、安倍さん自身の疑惑が大きい。「森友・加計」「桜を見る会」疑惑は、まさに「政治の私物化」です。安倍さんの妻は森友学園の小学校の名誉校長をやっていたのでしょ。私や妻が関係していたら

安倍政権がこんな事態となった背景には、長期政権

「歴史」です。「歴史」の書き換えをさせた。私は絶対に許すことができません。「桜を見る会」。私が大臣の時も「推薦」の枠はありました。国や社会のために役に立っている人だけをちゃんと推薦しました。自分の後援会を「招待」したのは安倍さんだけです。今回の安倍さんの辞意表明は、八方ふさがりのなかで、どうにもならなくなってきたからです。安倍政権がこんな事態となった背景には、長期政権

野党共闘しつかり進め転換を

行き詰まりの内政・外交

元財務相、元民主党顧問 藤井裕久さん

安倍晋三首相が病気で辞任しました。ご本人はさぞ残念でしょう。ですが本質的には、内政・外交ともに行き詰まっています。だからだと思います。私は常々「命がけて安倍政権を倒す」と言っています。野党が結束して政権交代を実現することです。

容認する憲法解釈と安部法制で、世界の果てまで自衛隊がいくことが出来る仕組みをつくりました。私は「再び、日本を戦争する国にしようというのか」と安倍首相を批判してきました。戦争体験者として絶対に許すことができないからです。



吉田文子の 今晚のおかず

手軽で便利なちくわ料理。今年はオクラを詰めるのがお気に入り。太さ1.5センチ以下のオクラで作ります。ツナマヨは缶1つ分で作り、残りをパンにのせたりしても便利です。

◆作り方 ①オクラはかためにゆで、先端の細い部分を1センチほど切って1本を半分に切り、2本のちくわに、オクラ1本半ずつ詰め、4等分してお皿に盛る。

◆材料(2人分)
ちくわ(小) 4本(120g) /
オクラ 3本 / ツナ缶 1/2缶 (35g) / タマネギみじん切り 大さじ1 / マヨネーズ 大さじ1
＝計310円

②ツナ缶の油を切り、タマネギみじん切り(辛味が強ければ水にさらしてしぼる)、マヨネーズをまぜる。

③ちくわ2本は縦2つに切り、長さを3等分にし、穴部分が上になるようお皿に並べ、②のツナマヨをのせる。

(1人分133キロカロリー、塩分1.5g)

ちくわで2種



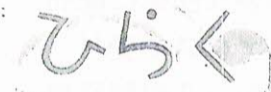
黒田みち
TEL 090-9987-7909

プロダクション たんぽぽたより
黒田みち



日本共産党

未来



総選挙で安倍政治に決着つけよう

日曜版「桜」報道に「JC」大賞

安倍晋三首相の辞任で、新しい激動の時代が始まりました。しかし自民党総裁選では、「安倍政治」礼賛の大合唱。志位和夫委員長は、安倍政治との決着は総選挙でつけよう、と訴えます。同志社大学教授の浜矩子さん、法政大学教授の山口二郎さんが、野党の共闘で政権交代実現をなどと語ります。

日曜版の「桜を見る会」疑惑スクープが、「国政、メディアに大きなインパクトを与えた」として2020年の「JC」大賞を受賞しました。法政大学の西充子教授がその意義などを語ります。

作家の中脇初枝さんが、絵本『つるかめ つるかめ』を出版しました。

外環道の事業費が当初の1.8倍、約2.4兆円に膨張しています。その裏で、国が大手ゼネコン鹿島に特別な便宜を…。スクープです。

初動が遅れコロナ感染の主要国となった英国。方針転換で検査を拡充し感



日曜版13日号

染者が減っています。

「健康らいふ」は新型コロナ流行下での避難所の換気です。

陸上短距離メダリストの末続慎吾さんが、第一線の選手にエールを送ります。

東京都が開示した新型コロナ感染症の「発生届」。感染報告日まで真っ黒な「のり弁」でした。政治的思惑で「東京アラート」を解除した疑いが深まります。

「ひと」は俳優、創作あーちすと、のんさん。